

チェーン・スプロケットの取扱い上のご注意

チェーン・スプロケットなどの取扱いに関しましては、それぞれの構造や仕様を正しくご理解のうえ下記の項目をお読みいただき、安全にご使用下さい。

チェーン開梱時の取扱い

出荷時の状態をそのまま使用時に維持していただくために、チェーンの開梱および据付時は以下の点に注意して下さい。
【正しいチェーンの取出し】 【誤ったチェーンの取出し】



- 開梱時に巻いてあるチェーンの端を引き出し無理やりチェーンを引き起こさない。(写真A)
チェーンの端を持上げると棒状にチェーン全体が上がるようになります。根元部分に非常に大きな力が加わり、「てこの原理」でねじれ・湾曲・変形となりますので絶対に行わないで下さい。
- チェーンを「投げる」「落とす」「振り回す」は行わないで下さい。

1 チェーン・スプロケットの取扱い

安全作業のために

●作業に適した服装、適切な保護具（安全眼鏡、安全靴など）を常に着用して下さい。●実際に作業を行う人だけでなく近くに居る人もご注意ください。●労働安全衛生規則第2編第1章第1節一般基準（原動機、回転軸などによる危険の防止）を遵守して下さい。●作業をする際は周囲を整理し安全な状態で行って下さい。●作業をする際は電源を必ず切って下さい。チェーン・スプロケットの取付け、取外し、給油、保守点検サービスを行う時は、事前に必ず装置の電源あるいは他の動力源を切り不慮にスイッチが入らないようにして下さい。また、作業中はチェーンとスプロケットあるいは周辺装置に、衣類や身体が挟まれないようにご注意ください。●吊り下げ装置に使用の場合は装置の下に絶対に人が入らないようにして下さい。

取扱 取扱について（P116～133、P318～331参照）

- 取扱は本カタログおよび取扱説明書に従い、チェーン・スプロケットおよび取付ける装置に適した選定・レイアウト・取付・調整・メンテナンスを行って下さい。
- チェーンの連結は継手リンクのタイプに適した取付け方法で作業を行って下さい。
- チェーン・スプロケットを取付ける装置のレイアウト・取付・調整・メンテナンスに関する注意事項に従って正しく行って下さい。

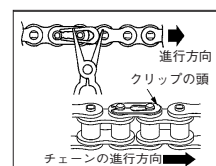
禁止事項

●チェーンの一部交換はしないで下さい。損耗したチェーンあるいはスプロケットの取替えの際、損耗・破損した部分のみを新品に交換した場合、強度が低下し切損・破壊となる危険があります。この場合は全部を新品に交換して下さい。●チェーン・スプロケットの再加工はしないで下さい。一部の部品を除きほとんどのチェーンの部品は熱処理されています。それらを再加工した場合、強度が低下し切損・破壊となる危険があります。*電気めっきは水素脆性破壊の原因となります。*溶接は部品の割れや熱影響で強度が低下し破壊の原因となります。*焼なましは製品・部品が持つ性能を損ない破壊の原因となることがあります。

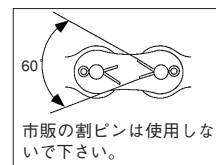
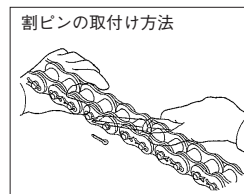
2 チェーンの取付

連結

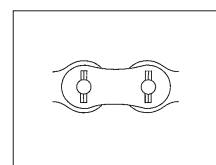
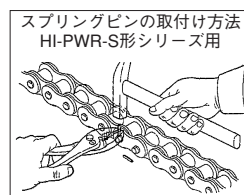
- 取付け前に、前1項をよくご参照下さい。
- 継手リンク、オフセットリンクは下記に従って正しくご使用下さい。
取付ける継手リンク、オフセットリンクの構造と種類をよく確認して下さい。（P21）
●クリップ形継手リンクのクリップ取付けは下図の方法と取付け状態に従って下さい。



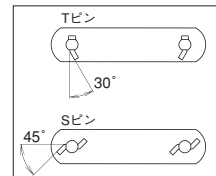
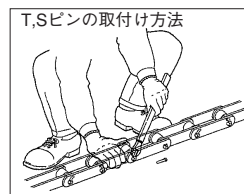
- 割ピン形継手リンクは下図の方法と取付け状態に従って下さい。



- スプリングピンは下図の方法と取付け状態に従って下さい。スプリングピンはDIDHI-PWR-S、HK、HI-PWR-SHKシリーズ（P52～67）に使用されているしまりばめ継手リンクに用います。



- Tピン、Sピンは下図の方法と取付け状態に従って下さい。



- 1ピッチオフセットリンクは割ピン形継手リンク、2ピッチオフセットリンクは使用する継手リンクの取付け方法に準じて下さい。

その他の特殊な形式の継手リンクについては当社までご相談下さい。

禁止事項



- 部品の加工はしないで下さい。
組立の際、継手プレートが入りにくいなどの理由で、プレートの孔をドリルなどで大きくしたり、ピンをヤスリなどで細くしたりすることは絶対にしないで下さい。
- 一度使用した物は再度使用しないで下さい。
一度使用したクリップの再利用や割ピンまたは継手リンクあるいは分解したチェーンの部品を新しいチェーンに組込むことはしないで下さい。

調整

- (3) チェーンを正しく作動させるために正しく取付け、調整して下さい。(P123～133、P329～331参照)

確認

- (4) チェーン・スプロケットを取付け後、動力を入れる前に下記の事項を確認して下さい。
- ・継手リンク部分が正確に十分連結されているか確認して下さい。
 - ・スプロケットの歯にチェーンが噛み合っているか確認して下さい。
 - ・給油量は適正か確認して下さい。
 - ・周辺に干渉したり、飛散したりする物が置いてないか確認して下さい。
 - ・安全カバーが正しく取付けられているか確認して下さい。
 - ・安全カバーに干渉している物がないか確認して下さい。
 - ・チェーンに干渉している物がないか確認して下さい。
 - ・継手リンク部分などに異常がないか確認し、本体チェーンの各部品に傷や錆、あるいは異常な点がないか確認して下さい。
 - ・チェーンの回転方向には、立ち入らないで下さい。
- (5) 動力を入れた後に、異常な音がしたらスイッチを切って再確認して下さい。

危険の回避



- 危険防止具を取り付けて下さい。
チェーン・スプロケットの装置には危険防止具(安全カバー)を必ず取付けて下さい。予期せぬ破断によってスプロケットからチェーンが投げ出されることがあります。十分な防護装置とともに過負荷が起ころぬように過負荷制限装置やブレーキなど停止のための装置を取付けて下さい。
- 干渉物、飛散物を取り除いて下さい。
駆動するチェーン・スプロケットに干渉する障害物があると危険でもあり、またチェーンやスプロケットの寿命を短くします。それら干渉するものは常にチェックして取除いて下さい。また周辺に飛散する物があれば必ず取除いて下さい。

3 チェーンの取付

チェーン・スプロケットなどによる重大な事故を防止し、またチェーン・スプロケットの寿命を保つため次のメンテナンスを行って下さい。

給油

- (1) 給油 (P128～131、P331参照)
- 一部の特殊な材質あるいは構造によるチェーンを除き、ほとんどのチェーンは給油により相応の寿命を保つことができます。給油を必要とするチェーンが給油されないと寿命は短くなります。たとえば一部の部品に摩耗が起こりその事によりチェーンの伸びや錆・腐食・チェーン硬直などの不具合が生じます。

洗浄

- (2) 洗浄

チェーンに砂、金属粉などの物質が付着したまま使用した場合、摩耗の助長やチェーン硬直などが発生し寿命が短くなります。このような有害な物質を洗浄で取除いて下さい。
洗浄は灯油に浸し、乾燥後十分に給油して下さい。ただし、シールチェーンの場合、灯油でシールが劣化する場合がありますので、10分間以上浸さないで下さい。

洗浄液にはチェーン・スプロケットに有害な酸やアルカリあるいはガソリンや高揮発性溶剤などは使用しないで下さい。なお、シールチェーンにはワイヤーブラシを使用しないで下さい。

- (3) 張り調整と交換時期(P126～127、P133、P330～331参照)

調整

チェーン・スプロケットは消耗品です。チェーン・スプロケットの損耗によりチェーンにたるみが発生します。定期的なたるみ量を確認し適正な張りに調整して下さい。
チェーン・スプロケットの外観に有害な傷・錆が認められたりチェーンの伸びやスプロケットの損耗が限界近くになった場合は、速やかに交換して下さい。



- オフセットリンクは吊り下げ、吊り上げ用には使用しないで下さい。
- 過剰なオイルの付着は飛散など汚損の原因になります。飛散しないよう余分なオイルは拭き取って下さい。
- 洗浄の際ガソリンや高揮発性溶剤を使用しないで下さい。また酸やアルカリを含んだ物質を付着させないで下さい。

4 その他

チェーンの寿命は同じ種類、寸法であってもその使用されている環境あるいはスプロケットの歯数、給油の状態その他種々の条件により大きな差が生じます。スプロケットの寿命についても同じ事がいえます。また、チェーンとスプロケットの寿命にも差がありますので、たとえば歯先の摩耗した古いスプロケットに新しいチェーンなどを使用すると、不具合や時としてチェーンの破断などを起こすことがあります。

チェーンやスプロケットを交換する場合は、それぞれ新しいチェーンとスプロケットをご利用下さい。

その他不明な点がございましたら販売店または当社までお問い合わせ下さい。

伝動用チェーン
一般
標準形ローラ
高強度シリーズ
耐摩耗シリーズ
耐環境シリーズ
静音シリーズ
特定用途シリーズ
関連商品
スプロケット
設計
メンテナンス

小形搬送用チェーン
一般
シングルピッチ
ダブルピッチ
その他
技術資料

DK汎用コンベヤチェーン
概説
汎用並形
固着防止ローラ形
ベアリングローラ形
メガ・シール
強力H・Z形
ハイリンク
サイドローラ
トップローラ

DK特定用途コンベヤチェーン
特殊搬送専用
水処理専用
3次元屈曲
その他

写真集
スプロケット
実績写真集
特殊チェーン写真集
スプロケット

技術資料
チェーンの選定
許容負荷
推奨仕様
耐食性
メンテナンス